

定例記者会見資料



公立大学法人
島根県立大学

○日 時	平成24年11月15日(水) 13時30分～
○会 場	島根県立大学 本部棟2階 特別応接室
○会見者	本田雄一 理事長・学長
○会見項目	<p>【浜田キャンパス】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「わがまちCMコンテスト2012」における 優秀賞・会場特別賞の受賞……………【資料1】 <p>【入試関連】</p> <p>〔総合政策学部／浜田キャンパス〕</p> <ul style="list-style-type: none"> ・全国一般推薦入試、県内一般推薦入試、編入学、私費外国人留学生特別選抜試験 志願者状況のお知らせ及び報道取材のご協力のお願について……【資料2】 <p>〔看護学部／出雲キャンパス〕</p> <ul style="list-style-type: none"> ・推薦入試、社会人・学士入試、帰国子女入試の実施について……………【資料3】 <p>〔健康栄養学科・保育学科・総合文化学科／松江キャンパス〕</p> <ul style="list-style-type: none"> ・推薦入学、自己推薦入学、社会人特別選抜の志願状況について……………【資料4】
○資料提供 項目	<p>【3キャンパス共通】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・大学間連携共同教育推進事業……………【資料5】 <p>【浜田キャンパス】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・産業界等との連携による中国・四国地域人材育成事業……………【資料6】 ・アメリカ・イーストカロライナ大学との ビデオ会議を使った英語ディスカッション授業……………【資料7】 ・平成24年度 災害ボランティア派遣活動の概要……………【資料8】 ・国際文化交流の夕べ、USPチェンバーオーケストラ演奏会の開催…【資料9】 ・県立大の全初年次生が地域に出て「フィールド学習」を開始……………【資料10】 <p>【出雲キャンパス】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「平成24年度島根県がん相談員等地区研修会（西部研修会）」の開催…【資料11】 ・「交流ウォーキング・プログラム2012シーズン2」 ～学生と教職員が一丸となって地球一周を目指します～……………【資料12】
○行事予定	

※会見及び資料提供に関する問い合わせは、資料に記載されている担当者あてにお願いします。

なお、行事予定の問い合わせは、以下のとおり、お願いします。

浜田キャンパス 総務課 TEL 0855-24-2200
出雲キャンパス 管理課 TEL 0853-20-0200
松江キャンパス 管理課 TEL 0852-26-5525



マスコットキャラクター「オロリン」です。

H24年11月15日
島根県立大学
浜田キャンパス
総合政策学部
担当者 生田泰亮
電話 0855-24-2200 (代)

「わがまち CM コンテスト 2012」における優秀賞・会場特別賞の受賞について

総務省関東総合通信局、関東ICT推進NPO連絡協議会主催の「わがまちCMコンテスト2012 わがまちCM編」において、本学の学生サークル「地域密着てごねっと」とNPO法人てごねっと石見が制作したCM（『ゆずの町、益田市美都町「都茂（ツモ）」！』）が優秀賞ならびに会場特別賞を受賞しました。

本学の学生有志6名、てごねっと石見、地元市民が協力し、都茂の魅力を30秒のCMにまとめ、地域活性化とPRにつながればと制作に参加。学生が現地調査（ロケハン、シナハン）を行い、企画を考え、2012年8月27日、28日に撮影を行いました。

わがまちCM編には全国から194作品の応募があり、審査の結果、優秀賞と会場特別賞（会場参加者の投票による）の2つの賞を受賞しました。

（参加学生）

山根温子（4年）企画・脚本（ロケハン）
長澤 亮（4年）撮影、編集
幸野裕香（4年）主演
斎藤創志（3年）企画・出演（ロケハン）
松崎杏子（3年）アシスタント
高橋和之（2年）アシスタント
生田泰亮（顧問）撮影、編集

※受賞CMの映像は以下URL

<http://www.sheknowsjournal.com/wagamachicm/top.html>

平成24年11月15日
 島根県立大学アドミッション室
 (担当) 石飛、的場
 (電話) 0855-24-2203

平成25年度島根県立大学総合政策学部入学者選抜全国 一般推薦入試、県内一般推薦入試、編入学、私費外国人 留学生特別選抜試験志願者状況のお知らせ及び報道取 材のご協力のお願いについて

島根県立大学で平成24年11月24日(土)に実施致します総合政策学部の全国一般推薦入試、編入学、12月9日(日)に実施いたします総合政策学部の県内一般推薦入試の各試験の志願者の状況をお知らせいたします。

なお、試験の取材につきましては、下記によりご協力を賜りますようお願いいたします。

記

1. 募集人員と志願者数(総合政策学部)

区 分	募集人員	志願者数	昨年度 志願者数	昨年度 合格者数
全国一般推薦入試	30名	33名 (3名)	70名 (4名)	31名 (4名)
県内一般推薦入試	70名	59名 (59名)	75名 (75名)	70名 (70名)
編入学(一般選抜)	5名	4名 (1名)	6名 (1名)	0名 (0名)
編入学(推薦入試)	10名	9名 (9名)	5名 (5名)	5名 (5名)
私費外国人留学生特別選抜	若干名	2名 (0名)	0名 (0名)	0名 (0名)

※()内は、うち県内者数を掲載。

※県内・県外の別については、修学している者においては高等学校、大学等所在地による。

2. 出願期間

平成24年11月1日(木)～平成24年11月7日(水)

3. 試験日程等 場所：島根県立大学浜田キャンパス

<11月24日(土)>

全国一般推薦入試、編入学、私費外国人留学生特別選抜

- ・受験者入室 9:00～9:30
- ・受験上の注意 9:30～10:00
- ・小論文試験 10:00～11:30(90分)
- ・昼食、休憩 ～12:40
- ・注意事項連絡 12:40～13:00
- ・個別面接 13:00～17:00頃(各受験生の面接時間は約20分間)

< 12月9日(日) >

県内一般推薦入試

- ・受験者入室 9:00～9:30
- ・受験上の注意 9:30～10:00
- ・小論文試験 10:00～11:30 (90分)
- ・昼食、休憩 ～12:40
- ・注意事項連絡 12:40～13:00
- ・個別面接 13:00～15:35頃 (各受験生の面接時間は約20分間)

4. 取材対象及び取材会場

全国一般推薦入試、県内一般推薦入試における小論文試験<大講義室1>

5. 取材上の注意事項

- ・取材を希望される報道機関は、11月24日(土)、12月9日(日)両日とも9時30分に本部棟1F玄関ロビーにご集合ください。
- ・試験室内の取材時間は、9時35分から9時40分までとします。
- ・受験生への個別取材はお断りします。
- ・試験室内での取材は、映像及び写真撮影とします。
- ・受験者本人が特定される撮影はお控えください。
- ・その他取材に当たっては、本部係員の指示にしたがってください。
- ・小論文試験問題は、各試験実施日の11時30分に本部棟1F玄関ロビーでお渡しします。ご希望の場合は、お集まりください。

6. 確定受験者数の発表

島根県立大学ホームページで発表します。

(<http://hamada.u-shimane.ac.jp/admission/data/>)

- ・全国一般推薦入試、編入学の受験者数
平成24年11月24日(土) 午前11:00頃
- ・県内一般推薦入試の受験者数
平成23年12月9日(日) 午前11:00頃

7. 合格発表日

- ・全国一般推薦入試、編入学
平成24年11月30日(金) 午前10:00
- ・県内一般推薦入学
平成24年12月14日(金) 午前10:00

8. 取材対応担当者

(11/24) 島根県立大学事務局 教育研究支援部長 齋藤裕幸

(12/9) 島根県立大学 事務局長 藤原 弘

(電話) 0855-24-2203

平成24年11月15日
島根県立大学出雲キャンパス
教務学生課 小林・矢富
TEL(0853)20-0215

看護学部 推薦入試、社会人・学士入試、帰国子女入試の実施について

島根県立大学看護学部看護学科の「推薦入試」「社会人・学士入試」を下記の通り実施します。なお、試験の取材に際しご協力をお願いします。

記

1. 日程

- (1) 実施日 平成24年12月8日(土)
(2) 場 所 島根県立大学出雲キャンパス(出雲市西林木町151番地)
(3) 時 間

推薦入試(専門高校・総合学科卒業生) 社会人・学士入試 帰国子女入試	
受験生受付・入室	8:30~9:15
注意・連絡	9:15~9:25
小論文試験	9:30~11:00
休憩・昼食	11:00~11:50
面接試験	12:00~17:00頃

撮影可能時間
← 9:20~9:25

推薦入試(一般)・推薦入試(地域特別)	
受験生受付・入室	11:10~11:40
面接試験	12:00~17:00頃

※推薦入試(一般)・推薦入試(地域特別)は大学入試センター試験の受験が必須となります。

2. 出願状況等

- (1) 出願受付 平成24年11月15日(木)~11月22日(木)
※本日より出願開始
(2) 出願状況 出雲キャンパスホームページにて公表します。

●推薦入試(推薦入試は島根県の高等学校を対象とします)

試験区分	募集人員	出願者数	昨年出願者数
推薦入試(一般)	40名(※)		61名
推薦入試(専門・総合学科卒業生)	5名以内		13名
推薦入試(地域特別)	2名以内		1名
計	40名		75名

※推薦入試一般の募集人員には「推薦入試専門高校・総合学科卒業生」及び「推薦入試地域特別」の募集人員を含みます。

●社会人・学士入試

試験区分	募集人員	出願者数	昨年出願者数
社会人・学士入試	5名		23名
計	5名		23名

●帰国子女入試

試験区分	募集人員	出願者数	昨年出願者数
帰国子女入試	1名以内		0名
計	5名		0名

※帰国子女入試の募集人員は一般入試の募集人員（35名）に含みます。

(3) 合格発表

推薦入試（専門高校・総合学科卒業生）入試 社会人・学士入試 帰国子女入試
平成24年12月14日（金） 午前10時

推薦入試（一般） 推薦入試（地域特別）
平成25年 2月12日（火） 午前10時

(4) その他

一般入試については下記の通り実施します。

出願期間：平成25年1月28日（月）～2月6日（水）必着

個別試験：平成25年2月25日（月）又は2月26日（火）のうちいずれか1日

合格発表：平成25年3月5日（火）午前10時



島根県立大学
出雲キャンパス



島根県立大学
マスコットキャラクター
オロリン

平成24年11月15日
 島根県立大学短期大学部
 松江キャンパス 教務学生課 吾郷
 TEL: 0852-20-0215
 FAX: 0852-21-8150

平成25年度島根県立大学短期大学部（健康栄養学科・保育学科・総合文化学科）
 推薦入学、自己推薦入学及び社会人特別選抜の志願状況について

- 試験日 平成24年11月17日（土）・18日（日）
- 選抜方法 小論文、面接、口頭試問（健康栄養学科・社会人特別選抜のみ）
- 入学定員・募集人員・志願者数

学科	入学定員	推薦入学			自己推薦入学									社会人特別選抜			志願者合計 (A+B+C)					
		募集人員	志願者数 (A)			募集人員	志願者数 (B)						募集人員	志願者数 (C)								
			県内				県内			県外				計			男	女	計			
			男	女	計		男	女	計	男	女	計		男	女	計						
健康栄養学科	40	10	1	10	11										1名以内	0	5	5	1	15	16	
保育学科	50	15	3	21	24	7	1	17	18	0	15	15	1	32	33	1名以内	0	1	1	4	54	58
総合文化学科	140	40	3	41	44	30	4	3	7	1	23	24	5	26	31	3名以内	0	0	0	8	67	75
計	230	65	7	72	79	37	5	20	25	1	38	39	6	58	64		0	6	6	13	136	149

※「県内」「県外」の別は出身高校による。

- 試験日程

試験会場開扉	9:00
受験者試験室入室	9:00～ 9:45
連絡・注意	9:45～10:00
小論文	10:00～11:30
昼食・休憩	11:30～12:30
面接	13:00～18:00頃
- 合格発表 平成24年11月30日（金）13:00

- 参考 昨年度（平成24年度）の志願状況

学科	入学定員	推薦入学			自己推薦入学									社会人特別選抜			志願者合計 (A+B+C)					
		募集人員	志願者数 (A)			募集人員	志願者数 (B)						募集人員	志願者数 (C)								
			県内				県内			県外				計			男	女	計			
			男	女	計		男	女	計	男	女	計		男	女	計						
健康栄養学科	40	10	0	16	16										1名以内	0	1	1	0	17	17	
保育学科	50	15	0	25	25	7	2	15	17	0	10	10	2	25	27	1名以内	0	1	1	2	51	53
総合文化学科	140	40	4	42	46	30	1	4	5	3	18	21	4	22	26	3名以内	0	0	0	8	64	72
計	230	65	4	83	87	37	3	19	22	3	28	31	6	47	53		0	2	2	10	132	142

※「県内」「県外」の別は出身高校による。

【試験当日の取材に当たってのお願い】

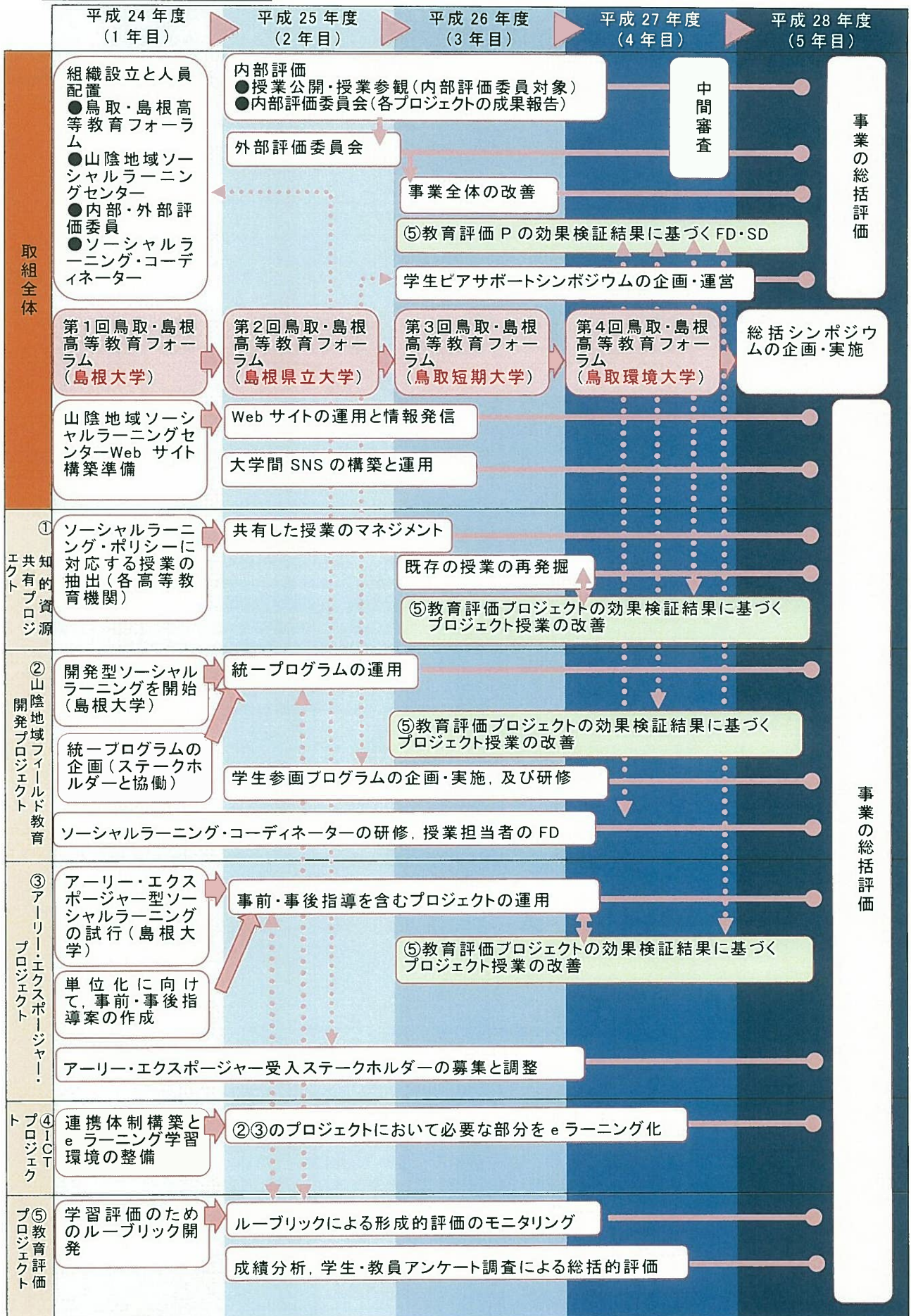
- 事務室教務学生課で資料と腕章をお渡しします。取材に当たっては、腕章を着用してください。
- 撮影を許可する小論文試験室は、大講義室です。記者の皆さんの試験室への立ち入り撮影は、9時45分から試験開始直前の9時55分までとします。
- 試験室内での撮影は、係員の指示に従って（受験生の後方から）撮影してください。
- 当日の受験者数（小論文試験）が確定するのは、11時頃となります。

取組名称：大学と地域社会を結ぶ大学間連携ソーシャルラーニング
取組大学：島根大学（代表校）鳥取環境大学、鳥取短期大学、島根県立大学、島根県立大学短期大学部

山陰地域の5大学・短大は、地域社会の人材ニーズに正面から向き合い、応えていくために、地域全体をフィールドにした「ソーシャルラーニング」を共同で展開する。ソーシャルラーニングとは、学生が早期から山陰地域の自然・歴史・文化・産業等の現場に出向き、地域の人々と交流する中で、地域発展の鍵となる課題を発見し、未知の解を追究しようとする力を伸ばす教育を意味する。本取組では、地域社会が大学教育に直接関与するシステムも構築する。



連携取組の実施計画



産業界等との連携による中国・四国地域人材育成事業

中国・四国地域連携会議

中国経済連合会
島根県経営者協会
山口県経営者協会
広島県経営者協会
岡山県経済団体連絡協議会
各企業等

中国経済産業局
島根県
山口県
広島県
岡山県

四国経済連合会
徳島県経営者協会
香川県経営者協会
愛媛県経営者協会
各企業等

四国経済産業局
徳島県
香川県
愛媛県

産業界等

アカデミック・スキルを
就業力につなげていくた
めには、キャリア系授業・
科目をどのように改善・
充実させればよいか

連携・協働

産業界等と大学が学生の成長を
共通認識するためには、どのよ
うな評価指標を用い、どのよ
うなポートフォリオ等を活用すれ
ばよいか

連携・協働

インターンシップを中心とした
実践・実習型の教育（PBL等）
が、真に効果を発揮するために
は、どのようなプログラム（内
容・方法等）がよいか

ニーズを受けて
取り組む教育
改善の課題

テーマ1

《キャリア系授業科目の改善・充実》

◎島根大学
島根県立大学
尾道市立大学
岡山理科大学
徳島大学

成果・情報
共有

テーマ2

《評価・指導方法の改善・充実》

◎広島修道大学
島根大学
島根県立大学
県立広島大学
岡山理科大学
安田女子大学
徳島大学
愛媛大学

成果・情報
共有

テーマ3

《フィールド系教育の改善・充実》

◎香川大学
岡山県立大学
尾道市立大学
県立広島大学
岡山理科大学
倉敷芸術科学大学
くらしき作陽大学
ノートルダム清心女子大学
広島修道大学
福山大学
山口東京理科大学
鈴峯女子大学
徳島大学
四国大学

成果・情報
共有

大学グループ

運営体制

- ◆ 幹事校（◎）副幹事校（○）がテーマ毎の取り組み運営を担当。同時にテーマ間の有機的関連を図る。
- ◆ 各県代表校（下線）による運営会議を設置し、自治体・経営者協会等地域との連携強化を図る。
- ◆ 事業の進捗や成果について検証するため、外部評価委員会を設置する。
- ◆ インターネットや印刷物等を通じて、地域社会全体に対して事業成果を広く発信する。

取組概要

- * 中山間地域の過疎・高齢化，中心市街地の空洞化，地域産業の不振，グローバル化への対応などの課題を抱える中国・四国地域産業界・自治体等の人材育成ニーズを受け
- * 当該地域の国公私立18大学・短大が独自に積み上げてきたキャリア教育のノウハウを活かしながら大学グループとして連携・協働し
- * 経済団体及び自治体と大学グループで構成する「中国・四国地域連携会議」を通じて3つのテーマを追求することにより
- * 中国・四国地域の振興・活性化に資する大学の改善・充実を達成する

目的

テーマ1 キャリア系授業科目の 改善・充実

産業界が求める「就業力」とキャリア系授業科目の達成目標（アカデミック・スキル等）とのミスマッチを詳細に分析し，その改善・充実を図る。

- * アクティヴ・ラーニングを重視したキャリア系授業科目の改善
- * 異文化・異世代コミュニケーションを育むキャリア系授業科目の開発
- * 産業界のニーズを反映したキャリア系授業科目の質保証システムの構築

テーマ2 評価・指導方法の 改善・充実

大学と産業界等とが，評価指標とツール（ポートフォリオ等）について共通理解できるよう努め，評価に係る指導・支援方法の改善・充実を図る。

- * 評価指標の産業界等との協働開発
- * ポートフォリオ等の意義について産業界等との共通理解
- * 学生によるポートフォリオ等の主体的活用の促進
- * 「キャリア・ポートフォリオ事例集」の作成と活用

テーマ3 フィールド系教育の 改善・充実

社会・就業体験など実践・実習型の教育プログラム（PBL等）が業界・業種等のニーズにどう結びついているかを検証し，その改善・充実を図る。

- < 3つのサブグループによる取組 >
- * 地域産業界等との連携を重視した実践的教育プログラムの開発
- * 産業界のニーズに沿ったインターンシップの強化
- * 産業界のニーズに対応した自律的な技術者養成プログラムの実施

成果

事業開始年度

中間・最終
年度

各大学におけるアンケート調査，外部委員からの意見聴取など多角的なニーズ調査に基づき把握した人材像・能力要素を設定して事業を開始。「中国・四国地域連携会議」での協議を通じて，さらに詳細なニーズの把握に努める。

中国経済連合会と共同で作成したアンケート調査を中国・四国地域の企業及び大学で実施。企業側の業種・業態・規模等に応じたより詳細なニーズと，大学側のミッション・教育プログラム等との一致・不一致について踏み込んだ検証を行い，最終年度の各テーマの取組に試行的に反映させる。

中国・四国地域の
産業界等のニーズを
把握・反映しながら
の事業展開

平成24年11月15日

島根県立大学

浜田キャンパス

担当者 交流研究課 福田郁子

電話 0855-24-2201

島根県立大学とアメリカ・イーストカロライナ大学 学生ビデオ会議授業について

島根県立大学とアメリカのイーストカロライナ大学の学生がビデオ会議を行います。この取組は最先端の ICT テクノロジーを使った新しい教育方法、異文化理解の促進、および英語力向上に寄与する教育の取り組みです。ぜひ、ご覧下さいますようお願いいたします。

ビデオ会議のテーマは「日米の異文化理解」です。それぞれの文化の違いについて学生がディスカッションを行い、共通点と相違点を明らかにしていきます。

使用言語は英語です。

記

1. 日時及び内容

- | | | |
|-----------|-----------|------------------------|
| 11月6日(火) | 午前10時～11時 | 自己紹介と地域・大学紹介のプレゼンテーション |
| 11月8日(木) | 午前10時～11時 | 大学生生活の違い |
| 11月13日(火) | 午前10時～11時 | 家族と伝統文化の違い |
| 11月15日(木) | 午前10時～11時 | 生きる意味と宗教の違い |
| 11月20日(火) | 午前10時～11時 | 文化によるステレオタイプ |
| 11月27日(火) | 午前10時～11時 | 偏見を克服する方法 |

2. 場所・会場

大演習室2 (講義研究棟3階)

3. 出席者・参加人数

島根県立大学側

島根県立大学総合政策学部3・4年生

10名

江口真理子教授

ジェイソン・ハリス非常勤講師

イーストカロライナ大学側

イーストカロライナ大学外国語学部学生

人数未定

イリーナ・スウェイン教授

4. これまでの経緯や今回の特徴など

島根県立大学では英語力向上のために英語を有意義な状況の中で使うインタラクティブな英語教育環境の構築を目指しています。その取り組みの一環として、平成 22 年度より、イーストカロライナ大学の主催するグローバル・パートナーズ・イン・エジュケーション（平成 24 年 5 月現在、28 カ国 42 大学加盟）に参加し、「異文化理解特別演習」として、ビデオ会議システムや ICT を利用して海外の加盟大学とつながることで、学生が日本にいなながら、異文化を体験できるプログラムを提供しております。これまでに、アメリカ、中国、ロシア、台湾、メキシコ、ペルーの大学と英語でディスカッションをする授業を提供してきました。本年度からは新しいビデオ会議システムを設置し、より美しい音声と映像によるリアルなインタラクションが可能となりました。

5. 主催者

主催：島根県立大学

取組責任者：教授 江口真理子 電話 0855-24-2231

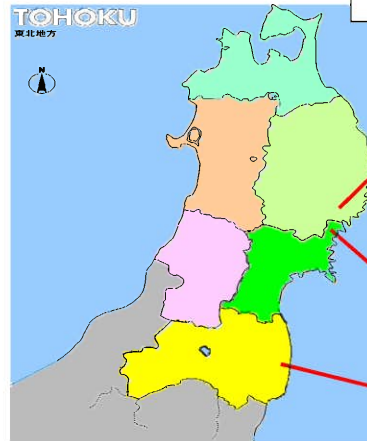
イーストカロライナ大学概要

- 米国南東部ノースカロライナ州グリーンヴィルに位置する公立大学で、教育、看護学、経営、音楽、医学などの分野で評価を得ている。
- 創立年：1907 年
- 学生数：約 27,400 名
- 学部数：9 学部（保健学、人文科学、経営、教育、芸術、体育、福祉、看護、工学）

本学とは、平成 24（2012）年 5 月に両大学間における協力関係に関する覚書を締結。

平成24年度 派遣活動の概要

- (1) 6月に、島根県社協主催の「島根県災害ボランティア隊」が計2クール南三陸町へ派遣され学生教職員が参加した。
- (2) 8～9月に、島根県社協主催により「いわてGINGA-NETプロジェクト」に計2クール派遣。県内他大学等の学生とともに参加した。
- (3) 11月に、島根県社協主催の「島根県災害ボランティア隊」が南相馬市に派遣され、学生が参加した。
- (4) 11月に、島根県社協主催の「島根県災害ボランティア隊」が計2クール南三陸町に派遣申し込みを学生が参加予定。



平成24年11月15日
島根県立大学 浜田キャンパス
交流研究課 岡崎巧
(TEL)0855-24-2396

区 分	活動期間	3キャンパス の学生計	浜田C の学生	出雲C の学生	松江C の学生	備考	(参考) 島根県社協 取りまとめ 参加者数
(1) 南三陸町 「島根県災害ボランティア隊」 (島根県社協主催：一般県民を対象)		8	6	0	2	男3女5 ほかに 職員1	47
活動場所：宮城県南三陸町	第1クール 6月13日(水) ～17日(日)	1	1	0	0		22
活動内容：がれき撤去、 被災家屋の片付け等	第2クール 6月20日(水) ～24日(日)	7	5	0	2	ほかに 職員1	25
(2) 住田町他 「島根県災害ボランティア隊」(いわてGINGA-NET) (島根県社協主催：学生を対象)		29	12	14	3	男11女18 ほかに 教職員2	47
活動場所：岩手県内被災市町 (大槌町、釜石市、大船渡市、 陸前高田市、住田町ほか)	第1クール 8月21日(火) ～28日(火)	12	4	6	2	ほかに 職員2	20
活動内容：仮設住宅でのサロン活動、 子供向け学習支援活動等	第2クール 9月4日(火) ～11日(火)	17	8	8	1		27
(3) 南相馬市 「島根県災害ボランティア隊」 (島根県社協主催：一般県民を対象)		5	5	0	0	男5女0	20
活動場所：福島県南相馬市	11月1日(木) ～5日(月)	5	5	0	0		20
活動内容：がれき撤去、 被災家屋の片付け等							
(4) 南三陸町 「島根県災害ボランティア隊」 (島根県社協主催：一般県民を対象)		28	26	0	2	男14女14	51
活動場所：宮城県南三陸町	第1クール 11月11日(日) ～15日(木)	13	13	0	0		23
活動内容：がれき撤去、 被災家屋の片付け等	第2クール 11月17日(土) ～21日(水)	15	13	0	2		28
平成24年度 合計		70	49	14	7	男33女37 ほかに 教職員3	165
(参考)平成23年度 合計		164	110	27	27	男79女85 ほかに 教職員8	277



みんなと
つながる
県大の夜。



【ゲスト】
USPチェンバーオーケストラ



【オープニング】
あおい保育園



第 12 回

国際文化交流の夕べ

であい ふれあい つながりあい

日時

2012

12.5 水

17:00
START

入 場 無 料

会場

島根県立大学

第1部

講堂

第2部

学生会館(カフェテリア)

PROGRAM

第1部

17:00～ 会場／島根県立大学 講堂

オープニング

あおい保育園の園児による
パフォーマンス

ゲスト

USP(Ulsan String Players)
チェンバーオーケストラ

〈曲目〉モーツァルト「アイネ・クライネ・ナハトムジーク」
ピアソラ「リベルタンゴ」 他

その他、学生サークル等によるダンス・歌など。

18:50～ 会場／講堂前広場

イルミネーション点灯式

第2部

19:10～ 会場／島根県立大学 学生会館

交流の時間

(カフェテリア)

ゲーム・出し物など、大学生と地域の皆様との交流会です。

20:10～ 会場／島根県立大学 学生会館

(カフェテリア)

ボランティア・ポイント抽選会

一般の方も抽選会に参加できます。

であい ふれあい つながりあい

USPチェンバーオーケストラ

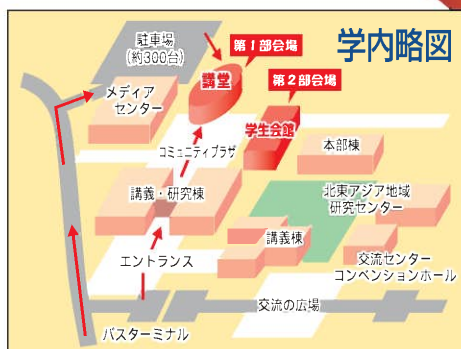
USP(Ulsan String Players)・チェンバー・オーケストラは、2007年11月に現代重工業の支援による企業メセナ活動の一環として、蔚山大学(ウルサン大学)との協約の上に創団された、韓国蔚山広域市の代表的なチェンバー・オーケストラである。団長には世界的なヴァイオリニストであるキム ヨンウク教授(ソウル大学教授、蔚山大学名誉教授)、総括リーダーはキム ネリ教授(蔚山大学教授)が務めている。

2008年1月から活動を開始し、キム ネリ教授の総括的な指揮の下、年に2回の定期演奏会及び、国内各地に出かけ10回以上の演奏会を行っている。多様なレパートリーを持ち、漸進的で、レベルの高い演奏を披露している。

※チェンバー・オーケストラとは…室内管弦楽団とも呼ばれ、25人くらいからなる小編成のオーケストラのこと。



キム・ネリ
(ヴァイオリン)



石見交通バス(大学線)時刻表 <行き>

浜田駅(発)	竹迫町	大学(着)
16:00	16:04	16:11
16:31	16:35	16:42

<帰り>

大学(発)	竹迫町	浜田駅(着)
21:05	21:11	21:27
21:42	21:48	22:04

お問い合わせ先

島根県立大学 交流研究課

〒697-0016 島根県浜田市野原町2433-2
TEL0855-24-2201 FAX0855-24-2208



平成24年度 優れた劇場・音楽堂からの創造発信事業

ULSAN String Player Chamber Orchestra USPチェンバーオーケストラ グラントワ特別演奏会

プログラム(予定)

◆ 1部 ◆

モーツァルト：アイネ・クライネ・ナハトムジーク
ヘンデル：水上の音楽
ピアソラ：オブリビオン
カルロス・ガルデル：ポール・ウナ・カベールサ タンゴ
ピアソラ：タンゴ バレエ

◆ 2部 ◆

ピアソラ：ブエノスアイレスの四季



キム ネリ(ヴァイオリン)

[USP (Ulsan String Players)・チェンバー・オーケストラ]

USP (Ulsan String Players)・チェンバー・オーケストラは、2007年11月に現代重工業の支援による企業メセナ活動の一環として、蔚山大学(ウルサン大学)との協約の上に創団された、韓国蔚山広域市の代表的なチェンバー・オーケストラである。

団長には世界的なヴァイオリニストであるキム ヨンウク教授(ソウル大学教授、蔚山大学名誉教授)、総括リーダーはキム ネリ教授(蔚山大学教授)が務めている。

2008年1月から活動を開始し、キム ネリ教授の総括的な指揮の下、年に2回の定期演奏会及び、国内各地に出かけ10回以上の演奏会を行っている。多様なレパートリーを持ち、漸進的で、レベルの高い演奏を披露している。

※チェンバー・オーケストラとは…室内管弦楽団とも呼ばれ、25人くらいからなる小編成のオーケストラのこと。



プログラムは止むをえず変更することがあります。

2012 12/7 **金**
開場 18:00 開演 18:30

島根県芸術文化センター
グラントワ大ホール

〒698-0022 島根県益田市有明町5-15
<http://www.grandtoit.jp/>

入場料：無料

ただし整理券が必要です

10月14日
配布開始

未就学児の入場はお断りいたします。
無料託児は、12月1日までにグラントワにお申し込みください。
※お客様による写真撮影、録音・録画はお断りいたします。

<入場整理券配布場所>

【益田市】島根県芸術文化センター「グラントワ」/益田市役所1階総合案内/宮内オリエント商会本店・JR 益田駅店/ブックセンタージャスト高津店/サウンドパレット/キヌヤ益田ショッピングセンター 【浜田市】石中央文化ホール/みずほ楽器 【江津市】江津グリーンモールインフォメーション 【松江市】島根県民会館総合インフォメーション 【津和野町】日原中央公民館 【吉賀町】カスヤ書店 【山口県】萩楽器店

■主催：島根県立大学・島根県・公益財団法人しまね文化振興財団(いわみ芸術劇場)・益田市・益田市教育委員会
■共催：島根県芸術文化センター「グラントワ」利用促進協議会 ■支援：文化庁

お問い合わせ/島根県芸術文化センター「グラントワ」TEL0856-31-1860

平成24年11月15日

島根県立大学

事務局交流研究課（地域連携推進室）

担当：河部（かわべ）

電話：0855-24-2396

県立大の全初年次生が地域に出て「フィールド学習」を開始

～地域の課題発見と課題解決能力を習得～

島根県立大学総合政策学部では、昨年度より始まった「フレッシュマン・フィールド・セミナー」が、今年度もこの秋学期（10月1日～翌年2月1日）から開講しました。学生が初年次生の時点から社会に触れ、地域の職業人とも接することを通じて、自らの学習目的を明確化し、主体的に将来像を描く力をつけさせることを目的としています。

このセミナーでは、学生が社会のさまざまな現場（フィールド）に出かけていき、そこで働く人びとへの聞き取り調査や、実際の現場に触れることなどを通じて課題を発見し、課題の解決策を計画し、提案していきます。事前調査に始まり、フィールド調査、調査結果分析、調査報告資料作成、成果発表などのプロセスで構成されており、全15回の授業のうち、2～5回程度のフィールド調査を実施します。

春学期の「フレッシュマン・スキル・セミナー」で学んだアカデミック・スキルを、このセミナーを通じて実践すると同時に、課題発見と課題解決能力を身につけ、2年次から始まる専門教育への橋渡しをする役割も担っています。初年次生全員を対象とした、このようなフィールド学習は全国的に見ても珍しい取り組みとなります。

今年度の「フレッシュマン・フィールド・セミナー」では、すでにフィールド調査を開始しているクラスもありますが、集中的に実地でのフィールド調査が、下記のとおり実施されます。担当教員の指導のもと、初年次生がキャンパスを飛び出し、クラスごとに各現場に出かけていきます。なお、クラスによっ

て取り組むテーマやフィールドは違い、授業の進行スケジュールも異なります
(各テーマ等は、別紙参考資料をご参照ください)。

●日時：平成24年11月22日(木)午後

※大学を出発する時間や現場到着の時間は、各クラスによって異なります。

●場所(フィールド)：

○No. 1 ・今井美術館

○No. 3 ・グラントワ

○No. 8 ・邑南町内各地(味蔵、香木の森公園、(有)シックス・プロデューズ、三江線宇都井駅〈INAKA@おおなん2011〉)

○No. 9 ・津和野町内各地

○No. 13 ・(株)石見銀山生活文化研究所

○No. 15 ・三隅発電所

○No. 16 ・美川苑

※No. は、別紙参考資料の通し番号です。

なお、上記のスケジュール以降も引き続き、各クラスでフィールド調査が実施されます。

以上

〈参考資料〉

平成24年度 フレッシュマン・フィールド・セミナー

	授業テーマ・概要等	フィールド	備考
1	浜田・江津の文化的地域資源の可能性－水族館と美術館に注目して－	・アクアス（浜田市・江津市） ・今井美術館（江津市） ・浜田市世界こども美術館（浜田市）	赤坂・八田 合同ゼミ
2	「浜田と石見の“元気印”」を調査・取材、分析し、このゼミの特徴である〔映像〕による知識化と認識化を図る。	・石州和紙会館（浜田市） ・(株)島根電子今福製作所（浜田市） ・(有)大秀商店（加工）（浜田市） ・浜田漁港（浜田市）	瓜生ゼミ
3	グラントワ（島根県芸術文化センター）及び石見神楽の現状を調査し、現在いろいろと取られている施策を考え、課題を発見し、さらに出来得ればこれらをより活性化させるための策を提案する。	・グラントワ〈島根県芸術文化センター〉（益田市） ・石見神楽（浜田市） ・浜田市観光振興課	大橋ゼミ
4	浜田市の水産業	・浜田市水産課 ・しまね漁業協同組合浜田支所（浜田市） ・(株)シーライフ（加工）（浜田市） ・しまねお魚センター（浜田市）	大前ゼミ
5	鳥取県境港市の発展から、地域政策や観光について考える。	・境港市役所貿易観光課 ・境港市水木しげるロード	川中ゼミ
6	農山村地域の現状と課題を学ぶ。	・浜田市内農山村集落	林(秀)ゼミ
7	浜田市の商店街の歴史、現状、活性化と大学との関係の在り方を探る。	・浜田市内商店街、他	藤原ゼミ
8	島根県内でも最も「元気な」地域と言われている邑智郡邑南町を調査し、浜田市が学ぶものは何かを考える。	・(有)シックス・プロデュース ・香木の森公園等（邑南町）	別枝ゼミ

9	観光政策について調査研究をして、大学所在地の自治体である浜田市への提言を目指す。	<ul style="list-style-type: none"> ・堀川周遊観光（松江市） ・縁結び観光（出雲市） ・城下町観光（津和野町） 	光延ゼミ
10	津和野町の歴史的文化財を活用した観光業の現状を調査し、課題を発見し、町の観光業を活性化するための振興策を提案する。	<ul style="list-style-type: none"> ・津和野町 	渡部ゼミ
11	「各種職業における就業観・キャリア調査」 多様な業種における従事者の職務満足・自己実現・転職歴等々について調査。職種・業務内容の多様性を理解し、従事者の就業意識や満足度、就業観を整理し、得られた示唆を企業側と学生のキャリア計画に役立てる。	<ul style="list-style-type: none"> ・1次2次3次産業、新興職業（半農半X、集落支援員、NPO等） ・職人、地域コーディネーター、公務員、教員など学生の希望する職種も予定。 	田中ゼミ
12	公務員とはどんな仕事をしているのか、どうしてそのような仕事が必要なのか、それぞれの公務員間でどのような連携をとっているのか、公務員になるためにはどのような資質が求められるのか等の、調査をします。	<ul style="list-style-type: none"> ・浜田市人事課 ・浜田海上保安部（浜田市） ・神戸税関浜田支署（浜田市） 	林田ゼミ
13	「中小企業の事業展開」 島根県を代表する中小企業1社をケーススタディの題材として取り上げ、同社の取組を調査することを通じて、中小企業を調査するうえでの手法を学ぶとともに、中小企業の抱える課題やその解決策、中小企業の事業展開の取組みについて学ぶ。	<ul style="list-style-type: none"> ・(株)石見銀山生活文化研究所（大田市） 	久保田ゼミ

14	「農村カフェ」に対する消費者意識に関する調査	・ NPO法人「明るい農村」(川本町)	西藤ゼミ
15	私たちの生活を支えるエネルギーについての理解を深めるとともに、幅広い視点から今後の浜田市のエネルギー政策の課題と展望について考察する。	・ 県企業局風力発電所 (江津市) ・ 県企業局水力発電所 (浜田市) ・ 三隅発電所 (浜田市)	豊田ゼミ
16	浜田市における、高齢者福祉の現状と課題を認識するために、実際に高齢者福祉の現場におもむき、問題解決の糸口について考える。	・ 夕陽ヶ丘 (浜田市) ・ 美川苑 (浜田市) ※浜田市内の特別養護老人ホーム、グループホーム、訪問介護事業所等	中川ゼミ

※授業の進行の過程において、内容を一部変更する場合があります。

平成 24 年 11 月 15 日
島根県立大学 出雲キャンパス
看護学部 平野 文子
管理課 岩成奈々恵
電話 0853-20-0200

「平成 24 年度島根県がん相談員等地区研修会(西部研修会)」 の開催について

1. 目的(ねらい)

- ・島根県のがん相談員の課題をふまえ、課題解決に向けての具体的な取り組みを明らかにする。
- ・相談員として最新の情報を収集し活用する方法を知る。
- ・がん患者・家族の心理的な変化を理解し、今後の相談に活用する。

2. 日時

平成 24 年 12 月 1 日 (土) 10:00～16:00

3. 会場

独立行政法人国立病院機構浜田医療センター 2 階 会議室①②
(浜田市浅井町 777 番地 12)

4. 主催

島根県
島根県立大学出雲キャンパス がん相談員研修委員会
共催
島根県がん診療ネットワーク協議会がん相談員部会

5. 内容・対象

1) 内容

- ・報告「ニーズ調査より明らかになった島根県のがん相談員が抱える課題」
- ・意見交換・発表「ニーズ調査より明らかになった課題への取り組み」について
- ・情報提供「がん情報の収集と活用」
- ・講義・演習「がん患者がたどるころの変化」

講師：島根県立中央病院 心理判定専門員 白川由里 氏

- 2) 対象：島根県西部地区の病院でがん相談に携わる医療ソーシャルワーカー、看護師

6. 出席者・参加人数

参加人数：約 30 名

7. 参加方法

1) 参加方法

所定の申込用紙に必要事項を記入の上、FAXにて「島根県立大学出雲キャンパス がん相談員等資質向上事業事務局」へ申し込む。

2) 参加費

無料

8. これまでの経緯や今回の特徴など

この研修会は、昨年度より島根県立大学出雲キャンパスが島根県から委託を受け取り組んでいる「がん相談員等資質向上事業」の1つである、「がん相談員研修事業」の一環として行うものである。

がん相談員研修会を自治体主体で行っている所はほとんどなく、本県での取り組みは先駆的であり、全国からも注目視されている。

今回は、10月に開催した、県内全域の病院でがん相談に携わる医療ソーシャルワーカー及び看護師を対象とした中央研修会に続く、第2回目の研修会であり、県西部地区の病院のがん相談に携わるスタッフを対象としたものである。

昨年度開催した西部研修会が、各病院のがん相談に携わるスタッフ同士の連携強化・ネットワーク構築の土台づくりにつながっており、今年度は、それをステップに、それぞれが抱える課題への取り組みについての意見交換や相談対応に活用できるがん情報の収集と活用方法、がん患者・家族の心理の理解についての講義、患者・家族の思いに寄り添うためのコミュニケーションスキルについての演習などを盛り込んだ研修となっている。



島根県立大学
出雲キャンパス



島根県立大学
マスコットキャラクター
オロリン

平成24年度 島根県がん相談員等地区研修会 西部研修会

ねらい

- ・島根県のがん相談員の課題をふまえ、課題解決に向けての具体的な取り組みを明らかにする
- ・相談員として最新の情報を収集し活用する方法を知る
- ・がん患者・家族の心理的な変化を理解し、今後の相談に活用する

主催 島根県
島根県立大学出雲キャンパス がん相談員研修委員会

共催 島根県がん診療ネットワーク協議会がん相談員部会

日時 平成 24年 12月 1日(土) 10:00~16:00

会場 独立行政法人 国立病院機構 浜田医療センター 2階 会議室①②
(浜田市浅井町 777番地12)
※ご来場の際は、公共交通機関のご利用にご協力をお願いします。
浜田医療センターの駐車場をご利用の場合は、会場に駐車券をお持ち下さい。

対象 がん相談に携わる医療ソーシャルワーカー・看護師など

参加費 無料

【プログラム】

9:30	～	9:50	受付
9:50	～	10:00	オリエンテーション
10:00	～	10:10	挨拶
10:10	～	10:25	報告「ニーズ調査より明らかになった 島根県のがん相談員が抱える課題」
10:25	～	11:45	意見交換・発表 「ニーズ調査より明らかになった課題への取り組み」について
11:45	～	12:00	情報提供 「がん情報の収集と活用」
12:00	～	13:00	休憩
13:00	～	15:50	講義・演習 「がん患者がたどるころの変化」 講師: 島根県立中央病院 心理判定専門員 白川 由里 氏
15:50	～	16:00	まとめ
16:00			閉会

※申込締切:平成 24年 11月 15日 (木)

- ・参加を希望される方は、別紙の申込用紙に必要事項を記入の上、FAXにてお申し込みください。
- ・当日の昼食は各自でご用意ください。
(研修会場である会議室での飲食は可能です。昼食は、研修会場または院内の食堂をご利用下さい。近隣には飲食店もあります。)

問い合わせ先: 島根県立大学出雲キャンパス がん相談員等資質向上事業事務局 安食
(TEL/FAX:0853-22-6522)

「交流ウォーキング・プログラム2012シーズン2」 ～学生と教職員が一丸となって地球一周を目指します～

1. プログラムの概要

学生と教職員の運動不足の解消と健康的な生活習慣を身につけるため、学生・教職員が4人1組でチームを作って歩数を競います。

2. 実施期間 平成24年10月29日（月）から11月25日（日）までの4週間（28日間）

3. 参加者 156名（教職員39名+学生117名）

4. 実施内容

- 1) 教職員1名と学生3人を1組とし、39チーム対抗で歩数を競う。
- 2) 教職員は各自目標歩数を設定して、ウォーキングの習慣化を目指す。
- 3) 参加者が楽しく運動に取り組めるようゲーム性のあるルールを採用する。
 - ①1,000歩を1マイルに換算して、チームごとにマイルを積算する。
 - ②活動等の内容によりボーナスマイルを加算する。
(例) チームでミーティングやウォーキングを実施
ウォーキングのレッスンDVDの視聴
学内外のウォーキングコースを紹介
- 4) マイルとボーナスマイルを合計して上位チーム等を表彰する。

5. 意義

看護職をめざす学生達にとって、教職員と交流を図りながら楽しく運動することは、健康意識を高めるだけでなく、相互の信頼関係を築くためにも有用である。

教職員にとっては、メタボリックシンドローム対策のみならずメンタルヘルス対策にも、ウォーキングは有用であると言われている。教職員が学生と一緒に組織的に参加するこの取り組みは、ウォーキングの習慣化の契機となるものである。

6. これまでの取り組み

出雲キャンパス衛生委員会では、平成23年から教職員を対象としたウォーキング・プログラムを年2回実施してきた。参加率は2回とも6割以上で、プログラムの効果として、健康を意識し運動の励みになり、コミュニケーションが活性化するなどの変化が認められた。また、プログラムの継続を望む参加者は9割を超えていた。

平成24年度は新入生との交流の視点も取り入れた「交流ウォーキング・プログラム2012」を5月に実施し、教職員と学生の172名が参加し、距離換算では、地球一周4万kmのうち約2万4千km歩いた。プログラム実施後のアンケートでは、学生及び教職員とも9割以上の参加者がプログラムの継続を希望したことから、今年度第2回目を企画した。